

2026

公開行事等のご案内	表紙裏
学校生活	1
教職員と生徒	4
教育課程	5
1年生の授業内容	6
学校行事	8
慶應義塾の目的	12
慶應義塾の歴史	14
募集のあらまし	16
Q & A	17

慶應義塾中等部

公開行事・学校説明会のご案内

運 動 会 日時：2025年10月2日（木） 9：00～16：00
 ※雨天時は10月3日（金）に順延の可能性あり
場所：慶應義塾大学日吉キャンパス陸上競技場
 （東急東横線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車）

展 覧 会 日時：2025年11月8日（土）12：00～16：30
 11月9日（日） 9：00～16：00
場所：本校
 ※詳細は10月頃に本校 HP 上でお知らせします。

学校説明会（展覧会と同日開催）

日時：2025年11月8日（土）11：00～12：00、13：30～14：30
 11月9日（日）11：00～12：00、13：30～14：30
場所：慶應義塾大学三田キャンパス西校舎ホール
対象：受験生および保護者（5年生以下の児童及び学習塾関係者の参加も可）

※各回とも同一内容です。

※事前の申込みは不要です。

※座席の数に限りがあります。予めご了承ください。

※開始時間までにご来場、ご着席下さい。

※上履きは不要です。

※駐車場の用意はございません。

※写真・ビデオの撮影はご遠慮下さい。

※中等部構内には食事場所および売店はございませんが、大学西校舎内の生協食堂が、以下の時間帯に営業しております。説明会の直後は混雑が予想されますが、必要に応じてご利用下さい。

11月8日（土）・9日（日）11：00～14：00

都合により営業時間が変更になる場合がありますので、予めご承知おき下さい。

上記の公開行事等については、感染症流行など社会的な状況で、変更や中止になる可能性があります。最新情報は、本校 HP のお知らせをご覧ください。

学 校 生 活

生徒には、自ら考え、自ら判断し、自ら行動して、その結果に責任を持てる自立した人物になってほしいと願っています。集団生活を行う上で、ある程度の規則を設定することはもちろん必要です。しかし、規則があるからやむを得ずを守るのではなく、生徒各人がなぜ好ましくないのかを「気品の泉源」「智徳の模範」の主旨に照らし合わせて考える習慣を養うため、「べからず」式の禁止事項を最小限にとどめ、自由の中に規律を求めることを目指しています。

〈中等部生活上守るべきこと・

知っておくべきこと〉

学校で生活するにあたっての申し合わせ事項を紹介しましょう。

服 装

[中等部生としてふさわしい、気品のある、端正なものであること]

1. 服装は自由であるが、バッジを常につけ、ジーンズなどは避ける。
2. アクセサリーなどはつけない。また、髪の色・脱色はしない。
3. 式および諸行事には、基準服を着用する。

人間関係

[相手の人格を尊重し、良好な関係を築いていこう。自分がされたくないことを、相手には絶対にしない]

1. 常に相手の立場を考え、思いやる気持ちを持とう。
2. お互いに協力し合い、困っている人がいたら手を差し伸べよう。
3. 身体的、精神的に相手を傷つける行為はしない。
4. 集団での無視、中傷、いやがらせはしない。
5. ネットやメールでのやりとりにも気を付ける。

校 内 — 登校時から下校時まで

[学校という社会生活のルールを守り、礼儀正しくふるまおう]

1. 午前7:30以前には登校しない。

2. 中等部手帳・生徒証・ロッカーキーは、常に携帯する。
3. 必要以上の現金は持ってこない。
4. 授業に必要な電子機器は持ってこない。
5. 漫画やゲーム類を持ってこない。ただし碁・将棋は例外とする。
6. 菓子類は、持ってこない。
7. ケガや事故につながるような危険な行動をとらない。
8. バットやラケット、固いボールなどの危険なものでは遊ばない。
9. クラスボールは周囲に配慮して使う。蹴る、強く投げる、高く打ち上げることはしない。
10. 緊急事態の場合、すぐに教職員へ連絡する。大人の助けを必要とするとき、各HR教室では「非常通報装置」(校内インターカム)が使用できる。
11. 中等部と綱町グラウンドの行き来には、必ず横断歩道を利用し、歩道を歩く。
12. 体育館では、赤ひもの運動靴を使用する。
13. 大声を出すなど、周辺住民の迷惑となるような行動は慎む。
14. エレベーターは原則使用しない。
15. iPadは利用規約に従って利用する。

校 外 — 登下校時および休日

[校外においても、中等部生らしい良識のある態度をとろう]

1. 登下校の途中に寄り道をしない。
2. 大学、女子高構内には立ち入らない。
3. 日曜・祭日などの休日は、原則として登校しない。

校 友 会

[校友会活動は、学業と並ぶものであり、積極的に参加しよう]

1. 校友会の入部・退部は、その校友会の部長と担任に書面で届け出る。
2. 校友会の活動は、一つの校友会について、平日週3日以内とする。休日の活動については、各校友会の部長の判断により、必要に応じて行う。
3. 夏休み中の活動日数は、休暇日数の半分以上とする。
4. 試験前1週間と試験中は、校友会活動をしない。

5. 早朝練習は、部長の許可を得る。
6. 雨天の場合、運動部の構内での練習場所は、体育館・体育館周辺・本館西側階段および新館階段のいずれも2～4階、ピロティ、大教室前に限る。廊下部分を使用してはいけない。

届・連絡・手続

[届・連絡は、団体生活においては大切なものであるから、速やかに行おう]

1. 欠席・遅刻・早退などは、担任に書面で届け出る。
2. 欠席の場合は、当日始業前に電話連絡をする。
3. 体育の見学は、予め届けを体育教員に提出する。急な場合は、保健室でみてもらった上で体育教員に申し出て、後日届けを提出する。
4. 学校保健法で指定された病気・感染症で欠席した場合は、登校再開時に保健室で校医の面接を受ける。
5. 生徒証・ロッカーキーを紛失した場合、器物を破損した場合は、すぐに担任に報告し必要な手続をとる。
6. 校外に出る場合は、担任または校友会の部長の許可を得る。
7. 早退や保健室で休む場合は、担任団に連絡する。
8. 家庭からの生徒の呼び出しは、緊急の場合のみとし、担任を通じて行う。

登下校時刻

始業時刻		午前	8 : 10
終業時刻	平 日	午後	2 : 20
	土 曜	午後	0 : 30
下校時刻			
4 月 ～ 展覧会まで		午後	5 : 30
展覧会後 ～ 12月		午後	4 : 30
1 月 ～ 3 月		午後	5 : 00
試験中		午後	1 : 00
休暇中・試験前 1 週間・試験			
最終日・授業のない登校日		午後	4 : 00

〈基準服〉

ふだんの登校のとき必ず着なければならない制服はありません。学校の服装に対する考

え方は、自己の判断、あるいは家庭の協力によって年齢にふさわしい、しかも個性を生かした服装をするということにあるといえます。ただ、そのためには判断のよりどころとなるものを与えねばなりませんし、中学生という年齢層の少年少女には、時には、はっきりした基準を示さなければなりません。それが、基準服ということになります。

- 男子 指定のブレザー・ズボン・白のワイシャツ・黒の革靴・ダーク系の靴下・指定されたネクタイ
(夏は、ブレザーなし・ノーネクタイ・他は同じ)
- 女子 指定のブレザー・ベスト・スカートまたはスラックス・白のブラウス・黒の革靴・白のハイソックス
(夏は、ブレザーなし・他は同じ)

校友会活動（クラブ活動）への参加は各自の自由ですが、学業と並ぶ大切なものとして位置づけています。各部の活動は原則として平日週3日以内ですので、学芸部と運動部を兼部する生徒が多く、校友会活動を通して、上級生・下級生の関係や、メンバーが違えば集団の個性も変わることなどを学んでいきます。校友会には学芸部21、運動部17の部があります。なお昨年度の校友会部員数及び合宿一覧は次の通りです。

2024年度 校友会部員数一覽

学 芸 部			
	男	女	
英語研究会	10	0	書道部
化学研究会	13	3	地理研究会
カメラクラブ	13	16	図書の会
器楽部	40	70	美術部
気象・天文・ 生物愛好会	30	9	文芸部
近代劇研究会	13	8	報道研究会
コーラス部	0	8	マンドリン クラブ
コンピュータ 研究会	7	0	模型部
茶道部	1	16	料理と手芸 の会
社会研究会	28	4	歴史部
将棋部	9	2	

運 動 部	
	男
弓術部	29
剣道部	8
サッカー部	60
山岳部	9
柔道部	8
女子ソフトボール部	0
水泳部	18
体操部	0
卓球部	31
テニス部	27
馬術部	14
バスケットボール部	50
バレーボール部	23
フェンシング部	14
野球部	46
ラグビー部	38
陸上競技部	24

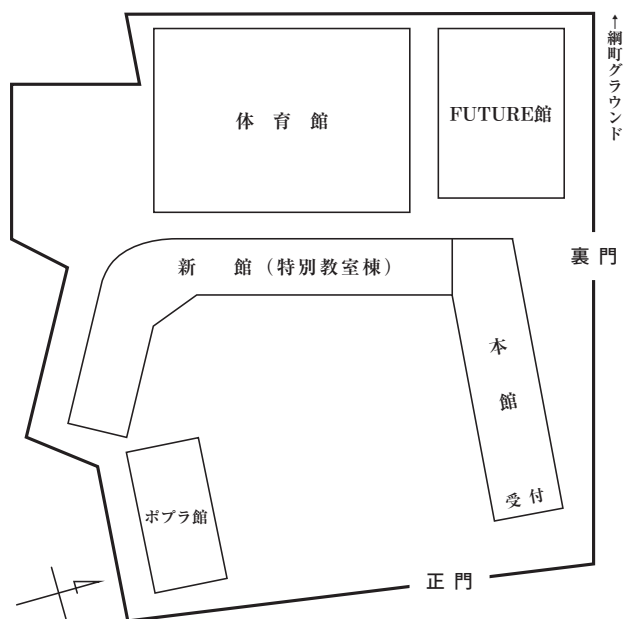
2024年度 校友会合宿一覧

学 芸 部	期 間	行 先	運 動 部	期 間	行 先
英 語 研 究 会	8/27～8/29	上総一ノ宮	弓 術 部	7/27～7/30	野辺山
カ メ ラ ク ラ ブ	8/26～8/27	富士	剣 道 部	7/25～7/27	勝浦
器 楽 部	3/28～3/31 9/1～9/5	斑尾高原 苗場	サ ッ カ ー 部	8/28～8/31	掛川
近 代 劇 研 究 会	9/4～9/5	鬼怒川温泉	山 岳 部	3/20～3/22 8/2～8/6	赤倉 白馬岳
コ ー ラ ス 部	8/7～8/10	苗場	女子ソフトボール部	8/19～8/22	山中湖
社 会 研 究 会	3/24～3/26 8/1～8/3 9/3～9/5 12/26～12/28	徳島・愛媛 大阪 兵庫・岡山 大阪・京都	水 泳 部	7/29～8/1	中等部
地 理 研 究 会	8/6～8/9 9/1～9/3 1/4～1/7	瀬戸内地方 秋田・青森 岡山県真庭	体操部（ダンス班）	4/3～4/5	中等部
図 書 の 会	9/4～9/5	鬼怒川温泉	卓 球 部	7/29～7/31	大網
美 術 部	3/25～3/26 8/26～8/27	千葉県房総半島 富士	テ ニ ス 部 (男 子) (女 子)	8/3～8/5 7/31～8/3	伊豆高原 水上高原
文 芸 部	7/22～7/24	花巻	馬 術 部	8/26～8/30	佐久市望月馬事公苑
マンドリンクラブ	8/7～8/10	苗場	バスケットボール部	3/22～3/26 8/28～9/1	福島県棚倉 北志賀竜王高原
歴 史 部	9/3～9/4	京都	バレーボール部 (女 子) (男 女)	8/2～8/4 3/22～3/24	中等部 中等部
			野 球 部	8/7～8/9	諏訪
			ラ グ ビ ー 部	7/31～8/3	菅平高原（長野）

〈施 設〉

都心にある学校ですので、敷地などの面では決して恵まれているとはいえませんが、施設を徐々に増やし、より良い学習環境を整えてきました。

普通教室のある本館と新館、特別教室棟などがあり、体育の授業や運動部の練習など屋外の運動は、校舎から少し離れた所にある綱町グラウンドを使用しています。グラウンドの脇には1993年に武道館（剣道場・柔道場・弓道場）が完成しました。また、1990年にポプラ館が、2000年にはFUTURE館が竣工し、視聴覚教育を中心として、さまざまなメディアを駆使した授業が行えるようになりました。さらに、アリーナ・中体育室・小体育室・セミナールーム・和室・多目的コート・プールを備えた新体育館が、2011年3月に竣工しました。



教職員と生徒

教員は、生徒に適切な指針を示し、その成長の道のりを見守るよう、努めています。お互いの信頼関係に基づいた上で、明るい人間関係を築くことを目指しています。

〈生 徒〉

中等部の1学年の生徒数は約240名です。各学年とも男女混合の6クラスで、1クラスの生徒数は約40名です。また、男女の比率はおおよそ3：2です。今年度4月の生徒数は以下の通り（カッコ内はそのうちの幼稚舎からの進学者）です。

	1年生	2年生	3年生
男子	146(27)	142(32)	146(33)
女子	98(48)	96(47)	92(45)

〈高校への進学〉

3年の卒業時に中等部長の推薦により、塾内の高校に進学できます。男子は高等学校（日吉と略、以下同様）、志木高等学校（志木）、ニューヨーク学院高等部（NY）のいずれか、女子は女子高等学校（女子）、ニューヨーク学院高等部のいずれかです。昨年度の卒業生

（236名在籍）の進学状況は以下の通りです。

※横浜初等部を卒業した児童が湘南藤沢中等部に入學し、さらに湘南藤沢中等部を卒業した生徒が湘南藤沢高等部（藤沢）に入學するため、2021年度の本校入学生より、湘南藤沢高等部への進学はできなくなりました。

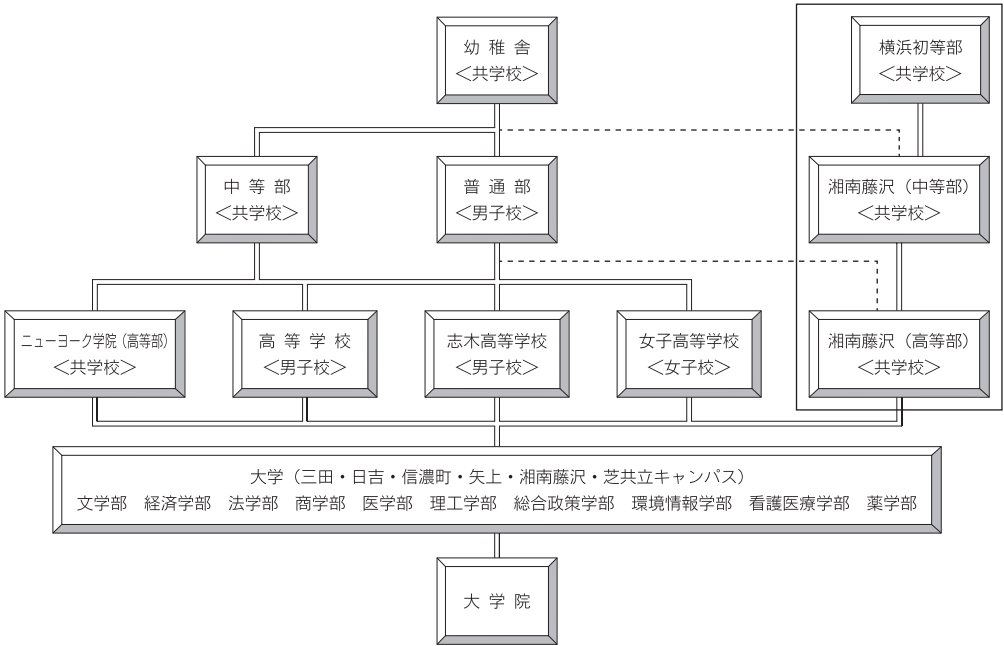
	日吉	志木	女子	NY	その他
男子	131	6	－	2	2
女子	－	－	92	2	1

〈教 職 員〉

今年度の教員数は、部長1名、主事1名、その他の専任教員40名、非常勤講師25名です。事務職員は事務長1名のほか14名、保健師1名、カウンセラー1名です。なお、校医は7名が交代で健康管理にあたっています。

教員の間には、教務、行事、図書、年鑑、メディア、施設などの諸委員会が設けられ、学校の運営と教育の充実のために努力しています。また、SDGs委員会が環境整備に取り組んでいます。

教員の学術研究も活発で、研究会や研修が常に行われており、教員による著書や学術論文、研究発表や講演も少なくありません。1995年3月には紀要『ウェリタース』第1号が発刊され、その後年1回刊行されています。



教育課程

生徒が将来円満な人格と豊かな人間性をもつ人になることを教育目標としていますから、学科においてもかたよらない知識を得、幅広い経験を積むことが大切であると考えています。つまり、慶應義塾の大学を卒業し、社会の中核の人物になり得る素地を作るためには、いろいろな学問の基礎を学び、様々な体験を積み重ねることが必要で、それが自分の可能性の発見につながるのです。

〈授 業〉

授業時間は45分単位です。年間を通じて授業は午前8時10分に始まります。月曜日から金曜日までは6時間の授業があり、午後2時20分に終わります。土曜日は4時間の授業とホームルームがあり、午後0時30分に終わります。週6日制となっています。

1時限	8：10～8：55
2時限	9：05～9：50
3時限	10：10～10：55
4時限	11：05～11：50
昼休み	11：50～12：40
5時限	12：40～13：25
6時限	13：35～14：20

1週間の授業時数は、各学年とも35時間です。体育では男女別で授業を行いますが、それ以外の科目はすべて男女一緒です。また、英語Ⅱでは、各学年ともネイティブスピーカーと日本人の教員が一緒にひとつの教室で授業をするティームティーチングを実施しています。さらに英語Ⅲでは、生徒の習熟度を考慮した少人数クラス編成による授業が行われています。技術・家庭、国語演習、数学演習でも、クラスを2つに分けた少人数教育を行い、より一層一人一人に目が届く指導を心がけています。

学期は3期制で、学期ごとに各科目で成績評価が出されます。考査は年間5回の定期考査の他に、科目により平常考査が行われます。これは、定期考査と平常考査の両者に一長一短があるため、併用しているのです。また、レポートの提出やノート検査、課題や宿題の出来具合等、考査以外にも評価の対象になることがあります。

総合的な学習の時間は時間割に組み込まず、各教科や行事の中で総合的な学習の要素を取り入れた指導をしています。

週当り授業時数

		1年	2年	3年
国語	I	2	2	3
	II	2	2	2
	演習	1	1	—
	習字	1	—	—
社会	I	2	2	2
	II	—	—	2
	III	2	2	1
数学	I	3	3	2
	II	2	2	2
	演習	—	1	1
理科	I	2	2	2
	II	2	2	2
音楽		2	2	1
美術		2	1	2
保健体育	体育	2	2	2
	保健	1	1	—
技術・家庭		—	2	2
英語	I	3	2	2
	II	2	2	2
	III	1	1	1
選択		—	—	2
情報		1	1	—
道徳・特別活動		2	2	2
計		35	35	35

〈選択授業〉

3年生になると、週に1回、2時間連続して行われる「選択授業」を受講します。多彩な講座の中から自分の興味や関心に応じて選択しますから、より一層学習意欲を高めるきっかけになると思います。

選択授業では、ふだんの授業で取り扱わない内容や教員の専門分野を生かした内容なども受講できるように工夫されています。クラスの枠をこえたメンバーで受講しますから、生徒も教員も新たな環境で学びあうことを楽しみにしています。

2025年度 実施科目一覧

メディアの力を探る

ものづくり×SDGs

書道 de 卒業制作

推理小説を推理する

チャレンジ数学

マネーのIQを学び感動を設計する

東京今昔

SDGsのすゝめ

ミツバチの世界へ、ようこそ！

アンサンブルを楽しもう

造形ワークショップ

ハンディクラフト

英会話（advanced／intermediate）

フランス語入門

スペイン語入門

演習数学／理科演習

1年生の授業内容

1年生では、まず授業に慣れ、自分の勉強方法を確立することが大切です。毎日の授業をしっかりと聴いてノートを取り、予習・復習を心がけるよう指導しています。以下に、1年生の授業内容を簡単に紹介しましょう。

国 語

国語Ⅰでは、物語や小説、詩、短歌、俳句などの文学作品を中心に、随筆、説明文、論説文など、さまざまな形式の文章に触れながら、内容を正確に読み取る力を養います。文章をみんなで元気よく朗読することもありますし、「学問のすゝめ」の暗唱も行います。また、週1回の演習の時間では、ことばを用いて自分を表現することの楽しさを学びます。原稿用紙の使い方などの基礎的な学習から始まり、俳句・短歌の創作、ブックカバーの制作、ディベートなど、さまざまな表現活動を行います。

国語Ⅱでは、わたしたちがふだん使っている「ことば」というものについて深く考えるために、音声や文字、ことばのきまりを学びます。

習字では毛筆を使い、文字を正しく、美しく、速く書くために行書を中心に学びます。

社 会

社会Ⅰと社会Ⅲがあり、それぞれ世界地理と歴史を扱う科目です。

社会Ⅰでは、地図帳を用いて、世界の国々・世界の地形・世界の気候などを学習します。また、林間学校の準備学習として、目的地の地図を用いた授業も行います。

社会Ⅲでは、日本史の他に世界史も適宜扱い、1年生では、人類の発生や四大文明、ギリシャ・ローマの歴史なども学習します。

数 学

数学Ⅰでは代数分野を、数学Ⅱでは幾何分野を扱います。

数学Ⅰでは、基本的な計算を中心に、正負の数の計算から始めて、文字式の使い方、方程式・不等式の解法と文章題、関数の意味と比例・反比例などを扱います。

数学Ⅱでは図形の基礎的な用語の説明から始めて、作図と移動、空間図形などを学習します。時には論証を重視して扱うこともあります。

理 科

化学・物理を扱う理科Ⅰと、生物・地学を扱う理科Ⅱに分かれています。

理科Ⅰでは、水溶液や気体の性質、力のはたらき、光の進み方などを、実験を取り入れながら学習します。

理科Ⅱでは、植物と大地の変化について学習し、屋外での観察・スケッチや、顕微鏡での観察レポートなどの課題が出ます。

音 楽

まずは「慶應義塾塾歌」「中等部の歌」を歌えるように練習します。様々な歌を歌ったり、リズム遊びから楽譜の読み方の基礎を学習したり、「春」「越天楽」「魔王」「ブルタバ」などの鑑賞も取り入れています。アルトリコーダーの演奏も楽しめます。

美 術

3年生における油彩画制作の前段階として、1年生では、厚塗りが可能な不透明水彩絵の具（ガッシュ）の使い方を学ぶところから始めます。絵の具の使い方に慣れたら、大学構内に写生に行きます。また、デザイン、木版画や陶芸も経験します。

保健体育

保健の授業では、最初に健康とはどういう

ことなのかを考えます。体のしくみを初歩的に学び、さらに体の発育・発達について、また運動することで体のはたらきがどのように変化するかなども学習します。

体育の授業では、サッカー、ソフトボール、水泳、バレーボール、バスケットボール、剣道、持久走などを行います。発育、運動能力について個人差はありますが、中学生期は体の発育・発達の面で大切な時期です。運動の得意、不得意に関わらず、まじめに努力することが大切です。

情 報

コンピュータの操作などの実践的な学習活動を通じて、情報を適切に処理して日常生活や社会生活において活用できる能力を身につけることを目標としています。

文字の入力やソフトウェアの活用、データの整理などといった基本的な操作や、ネットワークに接続された本校のコンピュータシステムの活用について学習していきます。

特にコンピュータネットワークを利用する上でのルールやマナーについては、油断をせず、しっかりと学習することが大切です。

英 語

アルファベットの確認から始めて、一年間で英語で自己紹介や身のまわりのことが表現できるようにします。常に外国と日本の文化の相違について意識しながら、なるべく日常よく使う単語やフレーズを中心に学習していきます。英語Ⅰでは問題集を活用し、基本的な文法を学び、英語Ⅱではネイティブスピーカーとのティームティーチングを活用し、英語Ⅰで学んだことを実践的に運用します。英語Ⅲは2クラス以上に分割します。少人数制を生かし、ローマ字や辞書の使い方、歌や音読、文法の復習など英語Ⅰ、Ⅱを補うきめ細かい指導をしています。

学校行事

毎日の授業以外にも大切なことはたくさんあります。友達と和を深めたり、一緒に目標に向かって頑張ったりしながら、かけがえのない思い出をつくりあげていく、それが中等部の学校行事です。

例年の学校行事について紹介します。

新入生歓迎会 (4月)

2・3年生全員が新入生を歓迎し、あわせて校友会の各部の内容の紹介をします。例年のプログラムは次の通りです。

- | | |
|-----|---|
| 第1部 | 1. 開会宣言
2. 中等部の歌
3. 生徒会委員長挨拶
4. 新スタッフ・局員の紹介
5. 生徒会機構の説明 |
| 第2部 | 学芸部の紹介 |
| 第3部 | 運動部の紹介 |
| 第4部 | 1. 新入生へのプレゼント
2. 新入生へのインタビュー
3. 閉会宣言 |

健康診断 (4月)

身長・体重などの計測や、視力・聴力などの検診を細かく行います。

遠足 (4月)

学年ごとに、近郊への遠足を行います。入学以来、緊張していた新入生にとっては、担任とのふれ合いや、クラスメイトと仲良くなるよい機会になっています。今年度の各学年の行き先は次の通りで、昨年度の1年生の感想を載せておきます。

1年生……昭和の森公園

2年生……片瀬江ノ島

3年生……富士三湖台・紅葉台

桜舞うなか期待と不安を抱きながら入学してから2週間たった、4月22日に私達1年生は葛西臨海水族園に行きました。天気は残念ながら雨で昭和の森公園にいけませんでした、とても楽しかったです。

朝の7時45分に各教室に集まりバスに乗りました。まだ初めて会ってから2週間しかたっていなかった、どうなるか不安でしたが近くの人たちと話をしたり、みんなでカラオケをしたりととても盛り上がり楽しめました。

水族館の中で1番心に残ったのは、大水槽のマグロの群れです。迫力満点で、自分が海に潜っているような気分になりました。帰りのバスでは、クイズを旅行委員が出してくれたので、クラスの人について知ることができました。

学校に帰ってくると雨がやんでいた、中庭でクラス対抗レクリエーションをしました。ボール送りやナイスタオルリレーでは、クラスの人たちと一致団結することができました。

今回の遠足でこれからの中等部生活への期待がとても高まり、最高の思い出になりました。これからクラスの人たちとさらに仲を深めたいと思います。

(1D ○○○○)

慶早戦応援 (5月または6月)

春季の東京六大学野球リーグ戦の慶早戦の応援に行きます。1年生は全員参加します。

校内大会 (5月・10月)

学年ごとにクラス対抗で球技などを行い、全生徒が参加します。例年行われる種目は次の通りです。

5月	ソフトボール	(各学年男子)
	バスケットボール	(各学年)
	ドッジボール	(各学年)
10月	サッカー	(各学年男子)
	バレーボール	(各学年)
	綱引き	(各学年)

古典芸能鑑賞会 (6月)

毎年、古典芸能に関する演劇の鑑賞会を実施しています。国立劇場などへ行き、本物の舞台を観る貴重な体験もします。

林間学校 (7月)

1学期の最後に、各学年で全員参加の林間学校が行われます。事前に図書室やインターネットなどで目的地について調べておき、現地で地形・地誌・動植物・歴史などに触れ、実体験を通じて学習します。夏休みにその結果をまとめ、2学期の展覧会の際に発表します。今年度の林間学校は、1年生 斑尾、2年生 嬭恋、3年生 蓼科を目的地として実施する予定です。昨年度、斑尾に行った1年生の感想を紹介します。

3日目

当初は登山する予定でしたが、あいにくの雨だったため、戸隠神社に行くことになりました。戸隠神社は古事記でも有名な「天の岩戸開き」に功績があった神々を祀っている神社です。私は午前中に奥社、午後に中社に行きました。神社入り口から1時間ほど歩き、奥社に到着し、お賽銭をしました。午後は中社に行き学業成就など

のお守りを買いました。ホテルに戻り入浴と夕食を済ませたあと、全体レクリエーションをしました。中部部にまつわるクイズや先生方による怪談話のほか、「中部部の歌」・「塾歌」を斉唱しました。初めての全体レクリエーションで、とても楽しかったです。

4日目

いよいよ林間学校最終日となりました。朝食後、3日間お世話になったホテルを出発し、善光寺に到着しました。私は本堂、経蔵、山門、仲見世の順に回りました。本堂では、真っ暗な回廊を歩く戒壇巡りをしました。想像していた以上に暗く、少し怖かったです。次に訪れた経蔵では、経典が収められている輪蔵をみんなで回しました。山門でクラス写真を撮ったあと、仲見世に行きました。仲見世にはたくさんのお店があり、買い物をしているとあっという間に時間が過ぎてしまいました。バスに戻って昼食をとったあと、東京へ戻りました。池袋駅で解散し、林間学校は終了しました。

今回の林間学校は初めての宿泊行事で、友人の新しい一面に触れられ、より仲を深めることができたとともに、都会にはない大自然に触れることができました。今回学んだことを活かし、より有意義な中部部生活を過ごしていきたいです。

(1F △△△△)

BLS講習会 (7月)

新入生を対象に、専門の指導者による一次救命処置(Basic Life Support)とAED作動訓練を行います。救急手当の手順を学ぶと共に、大切な人・命を救うため、勇気を持って一刻も早い対応ができるよう知識と技術を習得します。

保護者会

年に4・5回、年度始め、中間考査後や学期末に行います。担任と保護者が生徒の成績や生活などについて話し合います。まだ不安のある1年生の1学期や進学をひかえた3年生の2学期は、時間をかけて行います。

校友会の合宿・旅行（長期休暇中）

夏休みを中心に、各校友会で、練習や試合の他に2泊から5泊の合宿・旅行が行われています。行き先は各校友会により異なります。

国際交流プログラム

希望者（多数の場合は選抜あり）を対象とした多様なプログラムを行っています。いずれのプログラムも、同年代の現地校生と中等部生が「一対一」の人数比で、英語を使って協働生活や学校生活を送ることができます。

ホームステイを受け入れるプログラムでは、パートナーの生徒のみならず、受け入れるクラス全員にとって貴重な国際交流の機会となっています。

1 年 次	冬期クランフォード日本語研修受け入れ（1月 12名） 英国クランフォード校の生徒をホームステイで受け入れ、共に中等部の授業に出る
2 年 次	春期英国研修（3月 約20名） 英国ホカリル校生宅でホームステイをし、共にホカリル校の授業に参加
3 年 次	イオラニ研修（6月・8月 8～10名） 6月：米国ハワイ州イオラニ校の生徒をホームステイで受け入れ、共に中等部の授業に出る 8月：6月に受け入れた生徒宅（ハワイ）でホームステイ、共にイオラニ校の授業に参加
	夏期英国研修（8月 20名） 英国カウンティ校・クランフォード校の生徒と共に宿泊、アクティビティや周辺地域探訪を行う
	秋期ホカリル日本語研修受け入れ（10月 約20名） 英国ホカリル校の生徒をホームステイで受け入れ、共に中等部の授業に出る

運動会（10月）

大学の日吉キャンパスの陸上競技場にて、陸上種目・団体競技などをクラス対抗で行います。昨年度のプログラムは次の通りです。

1. 開 会 式 （全 員）
2. 徒 競 走 （3年男子全員）
3. 3 人 4 脚 （2年男女）
4. ABCDEF 対抗リレー （各学年）
5. タイムレース① （各学年）
6. 満 腹 競 走 （3年男女）
7. 陣取り綱引き （女子全員）
8. 徒 競 走 （1年男子全員）
9. 借 物 競 走 （各学年男女）
10. 各部対抗リレー （運動部・学芸部）
11. フォークダンス （全 員）
12. 徒 競 走 （2年男子全員）
13. レディーファースト （1年男女）
14. タイムレース② （各学年）
15. 早かご競走 （3年男女）
16. 徒 競 走 （女子全員）
17. 騎 馬 戦 （男子全員）
18. クラス対抗リレー （各学年）
19. 閉 会 式 （全 員）

展 覧 会 （11月）

校友会の各学芸部が研究成果を発表するほか、学年の部屋では林間学校の学習結果の発表や個人作品の出品もあります。また、運動部も発表や招待試合を行っています。展示は20数室に及びます。

この展覧会には、翌年中等部を受験しようと考えている小学生やその保護者の方が多数訪れ、学校と生徒を直接見て知ることができるよい機会となっています。今年度の展覧会は11月8日（土）12:00～16:30、9日（日）9:00～16:00に開催されます。

なお、ポスター・パンフレットの表紙は、毎年生徒の作品から選ばれます。

音楽会 (12月)

校外の施設を借りて、クラスごとに音楽の授業の成果を発表します。全員が出演者となり、舞台に立ちます。

なお、3年生の曲は例年、各クラスの生徒による創作曲です。

生徒の感想を紹介します。

3年生にとっては最後の音楽会。クラスの音楽会委員となった今回は、いつもとは違う場所から見た音楽会となった。委員が待機するステージ裏から見たみんなの姿は正面から見た姿とはまた違い、緊張しながらも頑張っている後ろ姿は同年代ながらも頼もしく見えた。

出番を目の前にした次のクラスが暗いステージを覗き深呼吸をする。コツコツと革靴の音がホールに響きピタッと止まる。私はスイッチを上げ、ライトはゆっくりと生徒たちを照らす。クラスの演奏が終わりたくさんの拍手を浴びる。私はライトをゆっくり落とす。

どのクラスもリハーサルよりよい演奏で出番を終え、満足した表情で舞台から降りていくみんな。演奏前よりも一回り大きな背中に見えた。

今回の音楽会は私の中で一番達成感があり、思い出に残るものとなった。あの緊張感と楽しさは間違いなく私の一生の宝物だ。

(3F □□□□)

生徒会総会 (12月)

全生徒が一堂に会して、生徒会事務局からの年次報告を確認したり、中等部生活をよりよくするために意見を交換したりします。

昨年度のプログラムを紹介します。

第1部

1. 開会宣言
2. 生徒会事務局活動報告・委員会活動報告ならびに質疑応答
3. 新生徒会委員長の所信表明演説
4. 新生徒会委員長に対する方針上の代表質問

第2部

1. 生徒会総会実行委員会活動報告ならびに質疑応答
2. 討論に関する諸注意

第3部

1. 議題及び動議に対する質疑応答・討論採決

第4部

1. 閉会宣言
2. 講評

キャリア講座 (1月)

社会のさまざまな分野・業界で活躍している卒業生を10人ほど招いて講座を開き、その中から生徒が自分の興味・関心に合わせて2講座を選び、お話を聞きます。生徒会総会の議決によって実現した行事です。

見学 (3月)

1・2年生は、社会・理科の授業の一環として、見学を行っています。今までの見学場所は、工場・ゴミ処理施設・大学・研究所・博物館・歴史散策などです。

卒業旅行 (3月)

3年生は、卒業する前に九州へ4泊5日の旅行をします。福岡の太宰府や福澤先生ゆかりの大分県中津をはじめとして、長崎で平和学習を行うなど九州北部を巡ります。

慶應義塾の目的

慶應義塾は単に一所の学塾として自^{みず}から甘んずるを得ず。

其^{その}目的は我日本国中に於^おける気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、

之^{これ}を實際^{きよか}にしては居家、处世、立国の本旨^{あきらか}を明にして、

之を口に言ふのみにあらず、躬行^{きゆうこう}実践^{もつ}以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり。

福澤諭吉

創立者福澤諭吉の慶應義塾に込めた思い、教育こそが社会変革^{こんかん}の根幹であるとの確信はこの一文に込められている。人々の意識や習慣を変え、さらにはそれを基^{もと}に社会を改善する力が学問にあると考え、それをまず自らが「先導者」として実践し、多くの卒業生が彼に続いた。近現代の日本の歴史の重大な場面に、慶應義塾の卒業生の姿があったことは偶然ではない。

とりわけ福澤諭吉が教育の成果として強調したのが「気品」。これは外見や言葉遣い^{づか}のことではなく、自然とにじみ出る人格の高潔さ、人間の大きさのこと。その中には、社会が直面する困難な課題を進んで発見し、その解決に率先してコミットしていく精神^{きゆうこう}も含まれる。「躬行実践」とは、口先だけでなく、自から実際に行うことを意味する。そういった精神と行動力を持った人を「先導者」と呼んで育てようとしたのである。

義塾

義塾とは、義^{えん}捐金で運営される公共の学塾のこと。義とは“社会公共のため”“協力して事業を行う”との意味を持つ。したがって慶應義塾を今の言葉にすれば“慶應共立学校”となる。義塾は英国の「public school」の訳語とも推定される。福澤個人の私塾でもなく、国家や藩からも独立して、権力から独立した公にされた存在として誰もが参加できる、協同で運営されるソサエティという意味が込められている。1868（慶応4）年4月、「創立の年号に取て仮に」慶應をつけたと言われ、その仮の名が今に至るのは、義塾の大らかさを表していよう。

独立自尊

慶應義塾の教育理念が要約された言葉。なにもものにも屈せず、誰にもおごらず、権威や習慣、常識なるものに囚われず、ただ己^{おのれ}の良識と信念に照らし合わせて考え行動する。こうした態度を身につけることを学問することの目的とした。そこでは同時に、一人一人の成熟によって、個人の意識や習慣を変えることで、社会を改善することが目指されている。福澤は「一身独立して一国独立す」とも表現した。近代国家の確立は個人の自立と切っても切れない関係にあると考えていたのである。

実学

福澤諭吉が提唱した学問は「実学」と総称される。これは単なる実用の学、実用知識や技術を意味するものではない。福澤は実学に、わざわざ「サイヤンス」とふりがなをつけている場合もあり、実学は実証科学としての学問を指していた。平たくは、実学とは科学する心のこと。自立した個人のありようと、科学的にもの事を考えられる判断力と問題解決力を養うことは一体化して考えられていた。また、学問のための学問ではなく、物の理にそった思考と行動様式を日常生活に浸透させることを含んだ言葉ともいえる。社会改良・生活改善のための学問、それが「実学」の意味である。

半学半教

学業の進んだ者が他の者を教え、同時にさらに上級の者に学ぶという仕組み。幕末期に福澤諭吉が始めた蘭学塾では、教える者と学ぶ者の分を定めず、それぞれの分野で一日の長のある者が教える、相互に教え合い学び合う仕組み、すなわち「半学半教」の教育形態を実践していた。これは義塾の草創期に師弟共に未知の新分野に挑戦する中ではぐくまれたものだが、後進の世代に対して、学問は究めるほど奥が深く、教員も学生も生涯学び続けなければならないというメッセージともなっている。慶應義塾では、学問に対する志を同じくする者が、ある時は教え、またある時は学び、協同で塾を維持運営するという草創期の精神は今も受け継がれている。

自我作古

「我^{われ}より古^{いにしへ}を作^なす」と訓み、前人未到の新しい分野に挑戦し、たとえ困難や試練が待ち受けていても、それに耐^たえて開拓に当たるという、勇気と使命感を表した言葉。出典は中国の『宋史』。現在の言葉で平たく言えばチャレンジ精神。草創期の先進塾生たちが、西洋文明をいち早くとりいれて、日本の近代化に貢献^{こうけん}せんとしたその雄々^がしき気概^{がい}を示す一種のモットーの如くに使われている。日本の近代化において、鉄道、電気、ガス、水道、保険、新聞などの分野で事業をリードしてきた慶應義塾の卒業生は、身をもってこの言葉を実践した。

社中協力

慶應義塾は学問という志を同じくするものの結社である。そう表されるほど、学生と教員、また卒業生同士のつながりは強い。「社中」とは、学生・教職員、卒業生などすべての義塾関係者の総称。目的と使命感を共有する者のあつまりという意味がある。義塾の運営を経済的に支えている維持会（1901（明治34）年創設）のほか、卒業生約三十万人が何らかの形で所属する三田会は、職場や地域で組織され、日本だけでなく、世界中で合わせて約860を数える。

慶應義塾の歴史

1853 ペリー浦賀に来航

1854 日米和親条約

1858 福澤諭吉、蘭学塾を創始

江戸築地鉄砲洲の中津藩奥平家の邸内に福澤が開いた蘭学塾が慶應義塾の原点です。現在、中央区明石町の同地には、慶應義塾発祥之地記念碑が建てられています。

1863 英学塾に転向

1868 慶應義塾と命名

三度にわたる欧米視察で、英語、経済学など新しい教育の必要を痛感した福澤は、1868（慶応4）年、藩や国家などから独立した近代教育の先駆となる学塾として整備。それまで名前のなかった塾を時の元号に因み、慶應義塾と命名しました。

1874 幼稚舎発足

1871（明治4）年、義塾は現在の三田に移転。1874（明治7）年1月には義塾内で和田義郎による塾が開かれ、のち幼稚舎と呼ばれるようになりました。

1889 大日本帝国憲法の発布

1890 大学部発足

福澤は義塾をゆくゆくはユニバーシティにしたいとの構想を持っていましたが、1890（明治23）年、3人の主任教師をハーバード大学などから招くことによって、待望の大学部（文学科、理財科、法律科）を設置。1920（大正9）年大学令公布によって義塾は法令に基づいた大学となり、その際自然科学系統の医学部を加え、私学初の総合大学となりました。

1894 日清戦争勃発

1898 一貫教育の完成（普通部発足）

義塾は3年制の大学部と7年制の普通部からなる組織でしたが、1898（明治31）年、これが5年制の大学部、5年制の普通部（中等教育）、6年制の幼稚舎（初等教育）からなる一貫した組織に改編されました。幼稚舎からは16年、普通部からは10年という今日と同じ一貫教育が確立したのはこの時です。

1899 私学初の留学生派遣

大学部開設当初の問題は、教授の確保にありました。名実ともに学問の府となるためには、塾出身の大学教授を育てる必要がある、そう考えた福澤は、1899（明治32）年、大学部の卒業生数名を欧米の大学に留学させました。これが私学初の留学生派遣です。彼らが帰国し、大学部の教授陣に加わり、その人々に教わった学生がまた教授となる半学半教の義塾の伝統は、この留学生制度で新たな成果を生みしました。

1901 福澤諭吉没する

1904 日露戦争勃発

1906 大学院設置

学部卒業後のさらに高度な教育・研究を望む気運が塾内に高まったことから、慶應義塾は1906（明治39）年に大学院を設置しました。これが現在の新制の大学院になったのは1951（昭和26）年です。

1914 第一次世界大戦勃発

1917 医学教育の出發

1920 文・経・法・医からなる総合大学となる

1923 関東大震災

1934 日吉キャンパス開設

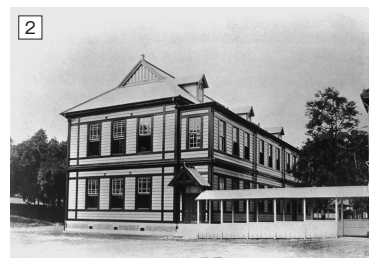
関東大震災の復旧が一段落した頃から、校地の拡大による環境整備が検討され始めました。1928（昭和3）年から1934（昭和9）年にかけて日吉台に13万坪の敷地を確保し、第一校舎と体育施設が竣工。大学予科の移転をもって日吉キャンパスが開設されました。

1939 第二次世界大戦勃発

1941 太平洋戦争開戦

1944 藤原工業大学が寄付され工学部となる

1945 広島・長崎に原爆投下



- 1946 日本国憲法公布
- 1947 **男女共学を実施（中部部・女子高等学校の設立）**
『学問のすゝめ』の冒頭で平等の思想を説いた福澤は、数多くの著作を
ととして女子教育の必要を訴え、また女子教育機関の設置を試みました。
戦後の教育基本法の制定により男女共学が実現し、義塾ではまず中部部
を設立、幼稚舎を男女共学としました。続いて1950（昭和25）年に女子
高等学校を設立して女子教育を始めました。また大学はこれに先立ち、
1946（昭和21）年から女子学生の入学を認めました。
- 1948 **高等学校発足**
前身である第一高等学校・第二高等学校が発足。翌1949（昭和24）年に
両校を統合して慶應義塾高等学校と改称しました。
- 1957 **商学部開設**
- 1957 **志木高等学校発足**
1948（昭和23）年に設置された慶應義塾農業高等学校から広大なキャンパスを引き継ぎ、普通高等学校とな
りました。
- 1962 **ビジネス・スクール発足**
- 1964 東京オリンピック
- 1970 日本万国博覧会
- 1972 札幌オリンピック
- 1981 **工学部を理工学部へ改組**
- 1990 **海外での教育を開始（ニューヨーク学院設立）**
日米それぞれの教育の良さをあわせ学んだ国際人の養成を目的に、1990（平成2）年、義塾は米国にニュー
ヨーク学院（高等部）を開設。慶應義塾の海外での教育・研究の拠点として、その第一歩を記しました。
- 1990 **湘南藤沢キャンパスに総合政策学部・環境情報学部開設**
- 1990 東西ドイツ統一
- 1992 **湘南藤沢中部部・高等部開校**
生徒の能力と個性の伸張を継続的・発展的に図ることを目的に中学・
高等学校を統合した6年間一貫教育を目指して開校しました。
- 1993 ヨーロッパで欧州連合（EU）が発足
- 1995 阪神・淡路大震災
- 1998 長野オリンピック
- 2001 **看護医療学部開設**
- 2001 アメリカ同時多発テロ事件発生
- 2004 大学院法務研究科（法科大学院）開設
- 2005 大学院健康マネジメント研究科開設
- 2008 創立150年を迎える
- 2008 共立薬科大学との合併により、薬学部、大学院薬学研究科開設
大学院システムデザイン・マネジメント研究科開設
大学院メディアデザイン研究科開設
- 2011 東日本大震災
- 2013 **横浜初等部開校**
慶應大阪シティキャンパス開設（リバーサイドキャンパスを移転）
- 2015 **大学部開設125年記念式典・講演会開催**
- 2016 殿町タウンキャンパス開設
- 2020 新・日吉記念館竣工
- 2021 **慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）開館**
福澤諭吉記念慶應義塾史展示館開館



- ① オランダでの福澤諭吉
- ② 大学部校舎（1904年竣工）
- ③ 開設間もない日吉キャンパス
- ④ 創立100年記念式典
- ⑤ 創立150年記念式典

募集のあらまし

1. 募集人員

男子：約 120 名 女子：約 50 名
(内部進学者の進学状況により多少の変動があります)

2. 募集要項の発表と出願

① 2026 年度募集要項の発表

中等部ホームページに掲載します。
9 月 1 日を予定しています。
必要書類はプリントアウトしてください。
※願書の頒布はなくなりました。

② 出願期間

Web：12 月下旬
郵送：1 月上旬
Web・郵送とも必須となります。
※郵送については、日本国内の郵便局の消印があるもののみとし、着日指定で送っていただきます。本校での窓口受付はいたしません。
詳細は募集要項をご覧ください。

③ 出願書類

- (1) 入学志願書
- (2) 報告書(出身小学校記入)
- (3) その他中等部で指定するもの

④ 入学検定料 30,000 円

3. 入学試験

- ① 一次試験 国語・社会・理科・算数
- ② 二次試験 (一次試験合格者のみ)
体育実技・保護者同席の面接

③ 試験日程

・一次試験

2 月 3 日(火) 8:30～12:30

・一次合格発表

2 月 4 日(水) 15:00～17:00
(Web 発表)

・二次試験

2 月 5 日(木)

※二次試験は次の時間帯の中で、2 時間程度を学校側で指定します。

女子 7:50 頃～11:00 頃

男子 10:00 頃～18:00 頃

・合格発表

2 月 6 日(金) 15:00～17:00
(Web 発表)

④ 試験場

一次試験 慶應義塾大学三田キャンパス
(男子；第一校舎・女子；西校舎)

二次試験 慶應義塾中等部校舎

4. 学 費

入学に必要な費用は、2026 年度については未定ですが、参考までに 2025 年度の現行額は次の通りです。

入 学 金	340,000 円
授 業 料	930,000 円
教育充実費	210,000 円
校友会費	15,000 円
合 計	1,495,000 円
(授業料分納の場合 1,030,000 円)	

※義塾内の他の中学校に入学手続きを完了した者には、納入した学費等の振替制度があります。

※所定の期日までの入学辞退者には、入学金を除く学費を返還します。

※なお、詳細は 2026 年度募集要項をご参照ください。

Q & A

入学試験について

Q 1. 受験にあたって条件がありますか？

A. 特別な条件はありません。受験資格としては、下記ア、イのいずれかに当たる者としています。

ア. 2026年3月に小学校、またはこれと同等の学校を卒業見込みの者。

イ. 次の(1)(2)の条件を共に満たしている者。

(1) 2013(平成25)年4月2日から2014(平成26)年4月1日までに生まれた者。

(2) 海外に在住し、2026年4月以降日本に居住予定の者。

※なお、上記ア、イ共に東京都およびその周辺に保護者(代理者可)が居住、または居住予定の者に限ります。

Q 2. 志願者数、合格者数はどのくらいですか？ また、繰上合格はあるのですか？

A. 最近3年間の志願者数、合格者数は以下の通りです。

		志願者数	合格者数
2023年度	男子	856	135
	女子	448	58
2024年度	男子	861	142
	女子	454	56
2025年度	男子	834	139
	女子	401	57

この他、繰上合格者が若干名いますが、年度によって増減があります。

Q 3. 帰国生入試は実施していますか？

A. 実施していません。

Q 4. 入学試験の時間と配点を教えて下さい。

A. 国語・算数が各45分で各100点、社会・理科が各25分で各50点です。

Q 5. 受験の際の持ち物を教えて下さい。

A. 一次試験で必要なものは、受験証・筆

記用具(鉛筆(シャープペンシル可)・消しゴム)です。下敷・定規・コンパス・分度器は必要ありません。一次試験の試験場の各教室には時計はありません。腕時計を持参してもかまいませんが、アラームをセットして使用してはいけません。計算機、計算機のついた時計の持ち込みは禁止しています。二次試験で必要なものは、受験証・体育着・体育館用の運動靴・外履きを入れる靴袋・衣服などを入れる袋です。なお、一次試験・二次試験ともに、上履き、お弁当は必要ありません。

Q 6. 特に重視される科目はありますか？

また、教科ごとの足切りはありますか？

A. 特に重視する科目、教科ごとの足切りはありません。一次試験・二次試験を総合して最終の可否を決定します。

Q 7. 保護者同席の面接では、両親共に出席しなければならないのですか？

A. できるかぎりご両親でご出席下さい。やむを得ない場合には、お一人でも結構です。なお、二次試験の時間は、学校側で指定させていただきます。

Q 8. 寄付金がありますか？

A. 義務づけられた寄付金はありません。ただし入学後に、任意で、「慶應義塾債」(1口10万円でできましたら3口以上、大学卒業時または大学院修了時に償還)のお引受け、及び「慶應義塾教育振興資金」(年額1口3万円でできましたら2口以上)、慶應義塾の教育・研究・医療環境整備事業の募金、中等部教育充実資金へのご応募をお願いしています。これらは、教育充実のために使われるものです。

Q 9. 慶應義塾の中学三校(普通部、中等部、湘南藤沢中等部)を併願することは可能ですか？

A. 三校とも受験可能となるように配慮します。

学校生活について

Q 1. 通学範囲はどのくらいですか？

- A. 今年度の新入生（240名）では、東京23区内から190名、東京23区外から6名、神奈川県から27名、千葉県から8名、埼玉県から8名、茨城県から1名が通学しています。片道の通学時間は、30分までが48名、1時間までが150名、1時間30分までが41名、2時間以上が1名です。

Q 2. 学校指定のカバンはありますか？ また、靴は革靴でなければなりませんか？

- A. カバンや靴に指定はありません。基準服を着る場合には黒の革靴、体育館では赤ひもの運動靴を使用します。

Q 3. 昼食と売店について教えてください。

- A. 昼食は弁当持参が原則となっています。月・水・金のみ、事前ネット予約でお弁当の注文ができます。構内にパン・ジュースの自動販売機もありますが、これのみでは生徒の成長・発育に十分な食事とはいえません。また、事務室では文房具を販売しています。

Q 4. 校友会活動（クラブ活動）への参加状況を教えてください。

- A. 校友会への参加は自由ですが、どの部にも所属していない生徒はほんの数名です。各部の活動は原則として平日週3日以内ですから、兼部している生徒もたくさんいます。

Q 5. 生徒用のコンピュータの施設について教えてください。

- A. 2025年4月現在、CAV室に50台、プラ館分割教室に26台、視聴覚教室に42台（タブレット）、その他生徒が利用できるものが数台あり、すべてインターネットに接続可能です。

Q 6. いじめはありますか？また、どのような対策をとっていますか？

- A. 日頃、互いを尊重しあうことの大切さを指導していますが、残念ながら、いじめが起こることもあります。いじめに対して、学校として厳しい姿勢で対応しています。いじめが起きた場合、起こりそ

うな状況があった場合、教員同士が連携しながら解決するまで取り組んでいます。

Q 7. 不登校の生徒はいますか？ また、どのような対策をとっていますか？

- A. 学年によっては、不登校の生徒がいる場合もあります。カウンセラーが週2回カウンセリングを行います。また、担当の小児科医、ストレスケアの専門医とも緊密に連絡をとって対応します。

Q 8. 慶應義塾の中学校には、中等部の他に普通部・湘南藤沢中等部がありますが、各学校の特色を教えてください。

- A. 中等部は男女共学75年間の歴史の中で集団生活における幅広い体験を重視する学校、普通部は長い伝統のもとで個性の伸長を図る男子校、湘南藤沢中等部は時代の流れに先行する試みを盛り込んだ中高一貫の男女共学校といえるでしょう。

Q 9. 学費以外にかかる費用はどのくらいですか？

- A. 入学までに、基準服（8～12万円、揃える点数による）、体操服（2万6千円程度）、スモック（6千円程度）、絵の具（1万5千円程度）、防災ずきんカバー（1,500円程度）を購入します。今年度の1年生は、積立金（教材、遠足、見学、鑑賞会等の費用）として年額10万円、林間学校費用として7万円、iPad費用として10万円をお預かりしています。この他に、各クラブでの必要用具一式を揃えるのに数万円かかり、長期休暇中のクラブの合宿に1回当たり4～6万円かかります。

Q 10. 入学後、保護者の海外赴任に帯同して海外に転出し、その後帰国した場合、中等部に復学することはできますか？

- A. 渡航期間が2年間までなら復学できます。ただし、以下の点についてご承知おきください。
- ・渡航期間中は保護者と同居して生活を共にするものとする。
 - ・渡航前と渡航後に必要な書類を提出する。
 - ・渡航期間終了後は中等部に復学するものとする。

また、学年が遅れることなく復学するには、次の①から④の条件を満たしている必要があります。

- ① 1年次の第1学期および3年次の第2・3学期は中等部で学習すること。
- ② 海外渡航期間が1年以内であること。
(渡航開始時期によっては4学期間)
- ③ 復学時に試験を受けてその学年に相当する学力が認定されること。
- ④ 渡航期間中は日本の中学校と同等の学校に就学すること。

Q11. 留学はできますか？

- A. 本校では、生徒単独での学期中の留学は認めていません。
なお、義塾派遣留学制度については別に定めます。

授業について

Q1. 各教科で使用している教科書や教材を教えてください。

- A. 今年度の1年生では、次の教科書・教材を使用しています。その他、プリント教材を必要に応じて使用します。

国語：中学国語1（教育出版）

国語便覧（浜島書店）

新編 新しい書写（東京書籍）

社会：新編 新しい社会 地理（東京書籍）

新編 新しい社会 歴史（東京書籍）

中学校社会科地図（帝国書院）

資料カラー歴史（浜島書店）

数学：中学校数学1（学校図書）

新 A CLASS 中学数学問題集1（昇龍堂）

理科：未来へひろがるサイエンス1（啓林館）

最新理科便覧 東京都版（浜島書店）

音楽：中学音楽1（教育出版）

中学器楽（教育出版）

慶應歌集（慶應義塾大学応援指導部）

美術：美術1（光村図書）

技術：新 技術・家庭 技術分野（教育図書）

家庭 新 技術・家庭 家庭分野（教育図書）

保健：新・中学保健体育（学研）

体育 ステップアップ中学体育（大修館書店）

英語：NEW HORIZON 1（東京書籍）

新中学問題集（発展編）1年

（教育開発出版）

道徳：生き方から学ぶ（日本教科書）

Q2. プールはありますか？

また、水泳の授業はありますか？

- A. 6月中旬～9月下旬にかけて水泳の授業を行います。1年生では25m、2・3年生は50m泳ぐことができるよう指導します。

Q3. 進度別・能力別授業はありますか？

- A. 英語では、週1時間、習熟度を考慮した少人数クラス編成で授業を行っています。

Q4. コンピュータを使った授業には、どのようなものがありますか？

- A. 1・2年次の「情報」の授業では、ネットワーク利用上のルールやマナーをはじめ、基本的なソフトウェアの利用についても指導します。他の教科でも、調べものやレポートの作成など、必要に応じて取り入れています。

また、2021年度入学生よりタブレット（iPad）を1人1台導入し、各授業やHR等で活用しています。

Q5. 家庭教師についたり塾に通う必要はありますか？

- A. 生徒の学力には個人差がありますので一概にはいえませんが、予習・復習をしっかり行い、中等部の授業をきちんと聴いてノートをとっていれば、特に必要ありません。

Q6. 授業について行くのが難しい生徒はどのように指導していますか？

- A. 担当教員が個別の指導を行って課題を出したり、少人数の補習を行ったりして補います。また、教員室は生徒が自由に入室できますので、質問をしに来る生徒がたくさんいます。

Q7. 英語検定・漢字検定は学校で受検できますか？

- A. 英検・漢検とも学校では受検できません。個人で申し込みのうえ、学外で受検して下さい。なお、英語の授業では、TOEFL Primary テストを全員受験し、自分の英語力をスコアで客観的に把握してもらっています。

進学について

Q 1. 高校への進学について教えてください。

- A. 中等部に学ぶ生徒は、特別に進学のための試験を受けることなく、中等部長の推薦により、塾内の高校に進学できます。ただし、普段の学習や素行の面において、特に不良の場合には、進級・進学に影響することもあります。

※横浜初等部を卒業した児童が湘南藤沢中等部に入学し、さらに湘南藤沢中等部を卒業した生徒が湘南藤沢高等部に入学するため、2021年度の本校入学生より、湘南藤沢高等部への進学はできなくなりました。

Q 2. 中等部を卒業して塾内高校に入学する際、入学金を支払う必要はありますか？

- A. 塾内のどの高校に進学しても、改めて入学金を納めていただいています。

Q 3. 中等部を卒業して慶應義塾ニューヨーク学院高等部へ進学する際、条件や注意すべきことはありますか？

- A. 特に条件はありません。ニューヨーク学院の教員は70%がアメリカ人で、英語で授業を行い、日本語は通じません。その授業についていくためには、かなりの英語力が必要です。また、生徒の90%は寮で生活し、その他の生徒は近隣から通学しています。なお、ニューヨーク学院は9月入学になります。

Q 4. 慶應義塾大学の学部選択について教えてください。

- A. 慶應義塾大学には、文学部・経済学部・法学部・商学部・医学部・理工学部・総合政策学部・環境情報学部・看護医療学部・薬学部がありますが、中等部在学中から、進学する学部を決めてしまうことは必ずしも好ましいことではありません。学科においてもかたよらない知識を得、幅広い経験を積むことが大切であると考えています。いろいろな学問の基礎を学び、様々な体験を重ねることが、自分の可能性の発見につながるのです。なお、昨年度の各高校からの進学状況は、次の表の通りです。

	日吉	志木	女子	藤沢	N Y
文	27	4	16	7	1
経 済	210	80	56	70	14
法	224	74	54	64	14
商	95	18	25	23	10
医	22	7	5	7	2
理 工	109	41	20	31	4
総 合	19	2	3	7	10
環 境	19	1	9	15	6
看 護	0	0	1	3	0
薬	1	0	1	9	0
その他	9	1	4	6	2

高校ごとに、学部への推薦枠を設けていますが、以前から医学部、近年は法学部も進学希望者数が推薦枠を超えています。この場合、成績により希望の学部に進学できないこともあります。

そ の 他

Q 1. 構内を見学することはできますか？

- A. 平常は構内の見学はできません。11月8日(土)12:00～16:30、9日(日)9:00～16:00に開催される展覧会の際にご覧下さい。なお、10月2日(木)に日吉キャンパス陸上競技場で行われる運動会(雨天時は10月3日(金)に順延の可能性あり)も公開しています。

※上記の公開行事については、感染症流行など社会的な状況で、変更や中止になる可能性があります。

Q 2. PTA 活動はありますか？

- A. PTA 組織はありません。年に4・5回行われる保護者会では、成績や生活など、担任教員と保護者との懇談の機会が設けられています。また、個人的な面談はいつでも受け付けています。

Q 3. 奨学金制度はありますか？

- A. 「小泉信三記念高等学校以下一貫教育校奨学金」(授業料の全額または半額)、「2000年記念教育基金奨学金」(金額は必要に応じて決定)、「中等部同窓会ひまわり奨学金」(原則、前期授業料および教育充実費の合計)があります。申請資格は、(1)経済的事情により学業の継続が困難となった者、(2)成績・品行ともに優れ健康である者、となっています。



2026年度 慶應義塾中等部
進学相談会資料

2025年 5 月 8 日発行

発行所
慶應義塾中等部
東京都港区三田 2 丁目17番10号
03-5427-1677
<https://www.kgc.keio.ac.jp>

印刷所
(有)梅沢印刷所
東京都港区三田 2 丁目15番45号